

植物代謝機能促進

活 緑 源

活性有機酸マグネシウム

成 分

保証成分(%)

水溶性苦土	水溶性マンガン	水溶性ほう素
5.0	0.1	0.2

含有成分

糖分……20%

有機酸…15%以上

ミネラル（鉄、銅、亜鉛等）

特 徴

有機酸マグネシウムが作物を活性化させると共に、糖分を直接葉面より補給しますので、日照不足の解消、樹勢（草勢）の回復、未消化窒素の代謝促進や、徒長防止に効果を発揮します。

又、数種類の微量無機成分も含んでいますので、植物の代謝機能の促進に効果を表します。

●糖と有機酸の葉面散布について

1. 無機質の窒素は作物体内でアミノ酸に合成され作物体内で栄養分として利用されます。これを窒素同化作用と呼び、果実の生産と同様多量のエネルギー（糖）を必要とします。
2. 果実の生産が進む時期には作物は糖不足を起こしやすく、これを一般的に『成りづかれ』と呼び、肥料不足が原因ではありません。又窒素の効きすぎによっても糖不足を起こし、作物は徒長し発病もしやすくなります。
3. 有機酸は糖が呼吸作用の途中で生ずる物質であって、即効的效果を発揮します。



主な効果

トマト・イチゴ…… 肥大促進・成りづかれ軽減
メロン……… 糖度増・色又け促進
一般果樹・野菜類… 未消化窒素の代謝促進
樹勢、草勢の回復

施用倍率

（農薬混用時）

果実・果菜類…… 400～600倍（800倍以上）
軟弱野菜……… 600～800倍（1,000倍以上）

使用上の注意

- (1)高温時の使用は避けてください。
- (2)農薬混用時は規定の倍率より2～3割薄くしてください。
- (3)強アルカリ性農薬との混用は避けてください。

発売元

製造元

ラサ晃栄株式会社